

2015年4月8日

各位

会社名 株式会社レナウン  
代表者 代表取締役社長 北畑 稔  
(コード番号 3606 東証第一部)

問合せ先 広報・IRグループ グループマネージャー  
櫻井 慎吾  
(TEL: 03-4521-8089)

### 業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成27年1月14日に公表した業績予想を下記の通り修正し、平成27年2月期決算において特別損失を計上することといたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### I 業績予想の修正について

平成27年2月期通期連結業績予想数値の修正(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	73,500	700	1,000	600	7.02
今回修正予想(B)	72,200	320	680	△120	△1.19
増減額(B-A)	△1,300	△380	△320	△720	
増減率(%)	△1.8	△54.3	△32.0	—	
(ご参考) 前期実績 (平成26年2月期)	75,863	△146	261	△164	△1.92

※ 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値が異なる可能性があります。

## 修正の理由

前回予想時点以降、当社グループでは冬物衣料のクリアランス販売と春物プロパー販売に注力いたしました。クリアランス開始時期の分散化のために盛り上がりを欠いたことや、円安に伴う諸物価の値上がりにより個人消費が低迷したことなどの要因で、売上高及び売上総利益が減少いたしました。これによって営業利益、経常利益は前回予想を下回る見込みです。

また、保有する投資有価証券の評価損を計上したことにより、当期純利益におきましても前回予想を下回る見込みであります。

## II 特別損失の計上及びその内容について

### 投資有価証券評価損

「その他有価証券」に区分される保有有価証券のうち、時価が著しく下落し、その回復があると認められないものについて減損処理による投資有価証券評価損を特別損失に計上いたします。

	連 結
2015年2月期第4四半期連結会計期間(2014年12月1日から2015年2月28日まで)の投資有価証券評価損の総額(=A-B)	57百万円
(A) 2015年2月期連結累計期間(2014年3月1日から2015年2月28日まで)の投資有価証券評価損の総額	550百万円
(B) 2015年2月期第3四半期連結累計期間(2014年3月1日から2014年11月30日まで)の投資有価証券評価損の総額	492百万円

※四半期における投資有価証券の評価方法は、洗替え方式を採用しております。

※当社の決算期末は2月末日です。

以 上